

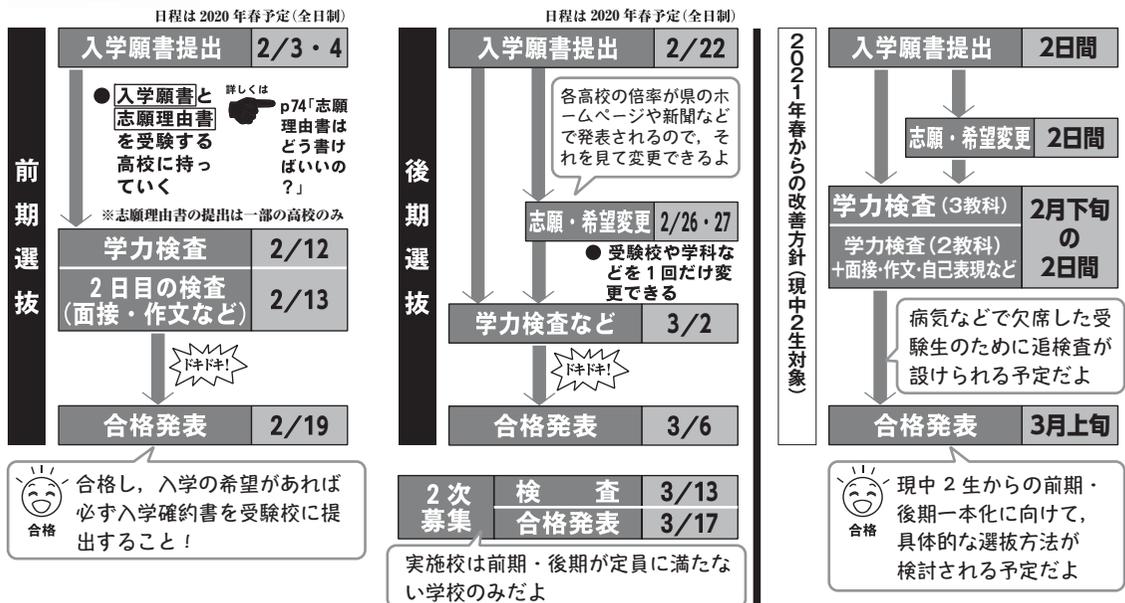
# 千葉県公立高校の入試システム

[2019年春]

基本の『き』

## 1 入試の流れ

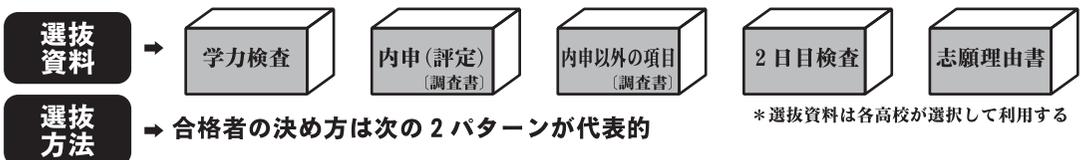
前期・後期の2回入試→2021年春(現中2生対象)に一本化の予定



基本の『き』

## 2 前期選抜の合格者はどのように決まるの？

各校がさまざまな方法で選抜している

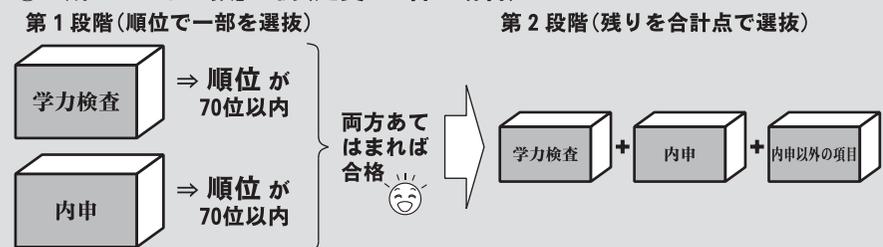


①「合計点による選抜」の例(定員100名の場合)



詳しくは p69「前期選抜のしくみ…」  
p73「調査書にはどんな…」  
p74「学力検査について…」  
p75「学力検査以外の検査について…」

②「順位による選抜」の例(定員100名の場合)

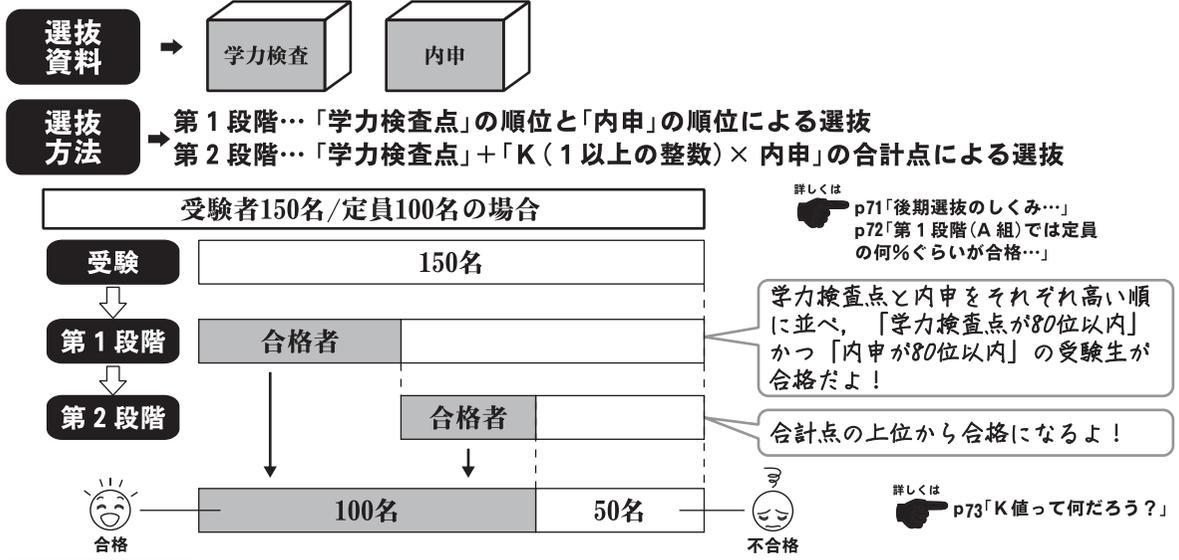


選抜方法はさまざま!

# 基本の『き』

## 3 後期選抜の合格者はどのように決まるの？

### どの高校も2段階で合格者を決めている



# 押さえておきたい基礎知識

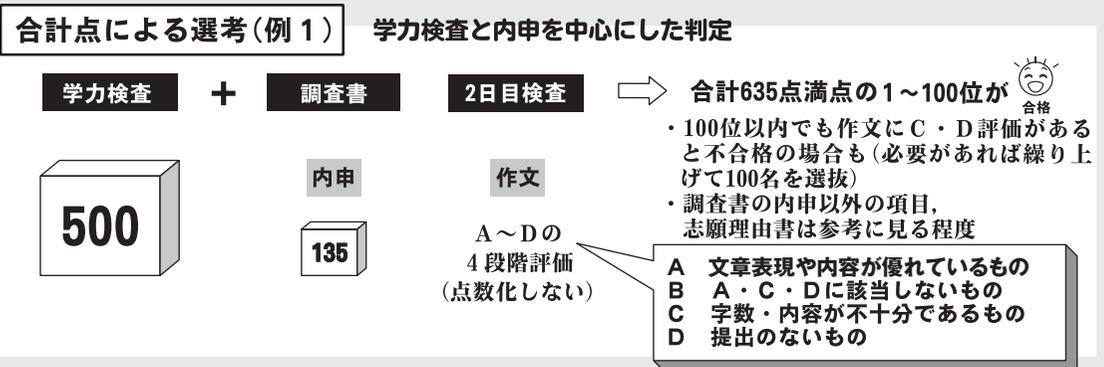
## 1 前期選抜のしくみを知っておこう！

### 具体的な選抜方法の例を見てみよう

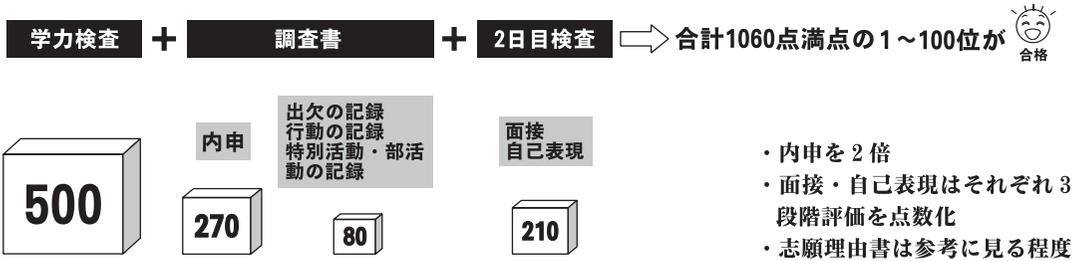
- 募集枠** 普通科 → 定員の30~60% (ほとんどが60%を採用)  
 その他の学科 → 定員の50~100% (多くが100%を採用) ※前期枠100%でも欠員があれば後期を実施
- 選抜方法** 「学力検査」「調査書」と、「2日目検査」(「面接」「作文」「自己表現」「適性検査」「小論文」「学校独自問題」から各校で実施)の結果で合格者を決める。
- 選抜資料** 学力検査…5教科×100点=500点満点  
 内申…9教科×5段階評価×3学年分=135点満点 ⇨ 算式1で調整
- 選抜方法はさまざまだが、多くの高校は次の2パターンのどちらかを採用！

**① 合計点による選考** …学力検査・内申に加えて、2日目検査の結果、調査書の内申以外の項目を点数化。それらの合計点で順位をつけ、上位から合格とする選考。

【選考例】(定員100名の場合)



## 合計点による選考(例2) 学力検査・調査書・2日目検査を点数化した判定



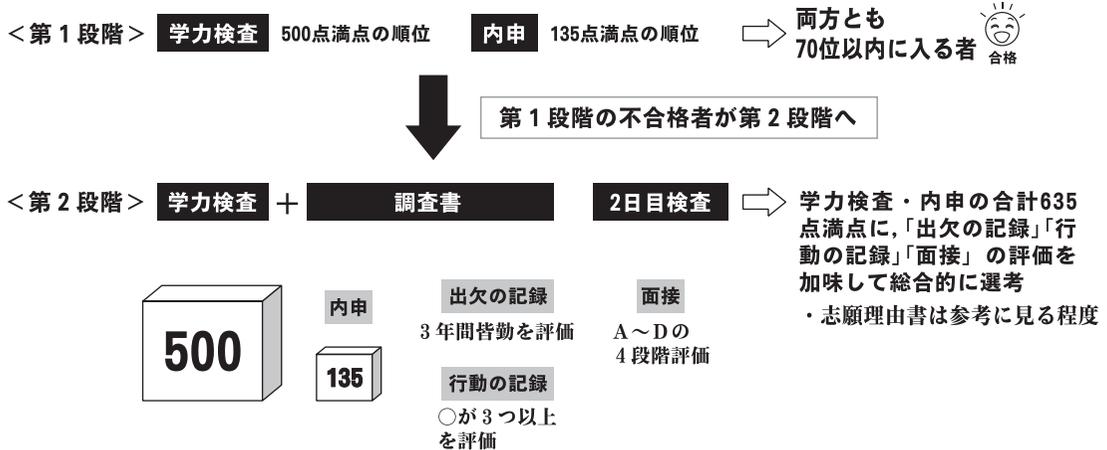
## ② 順位による選考

…学力検査・内申などの順位がともに、前期定員の60~80%以内に入る者を合格とし、残りを各資料の合計点などで判定する2段階での選考。

【選考例】 (定員100名の場合)

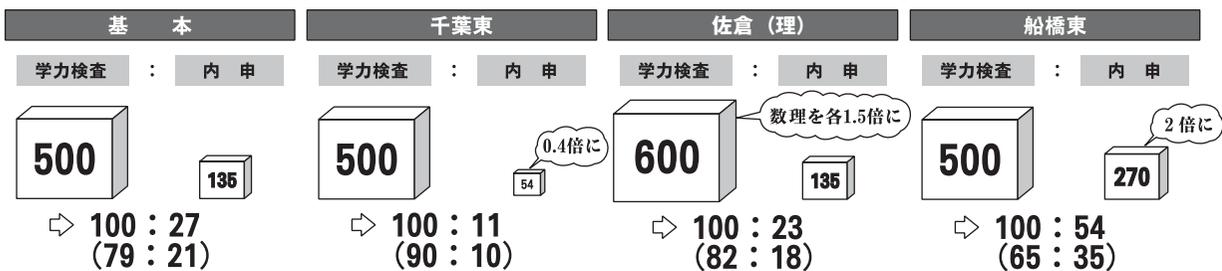
### 順位による選考(例3)

各資料の順位を組み合わせて上位者を選抜(2段階で選考する)

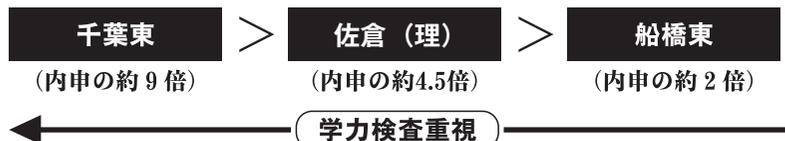


## 合計点による選考で、学力検査と内申の比重は高校によって違うの？

多くが100:27(およそ8:2)だが、高校により重みづけはさまざま



学力検査をより重視した選考を行ったのは…



押さえておきたい基礎知識

# 2 後期選抜のしくみを知っておこう！

## 2 段階選抜の具体的な流れはこうなっている

**募集枠**

普通科 → 定員の40~70% (ほとんどが40%を採用)  
その他の学科 → 定員の0~50% ※後期枠0%でも前期で欠員があれば後期を実施

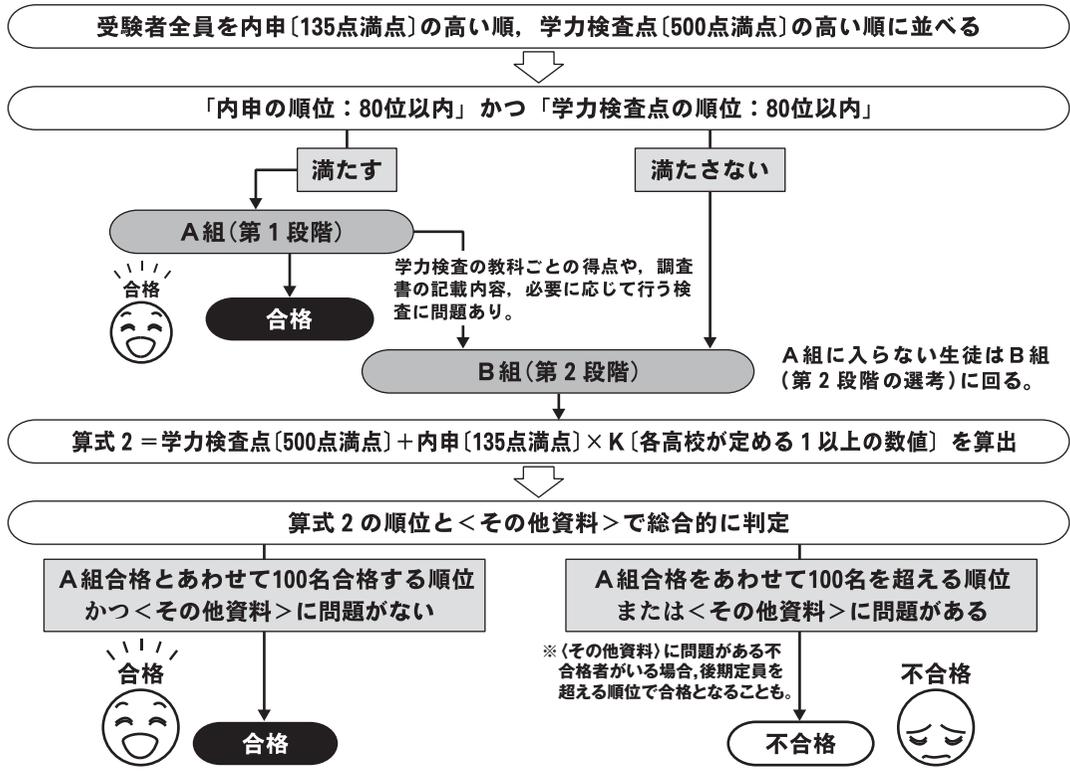
**選抜方法**

「学力検査」「調査書」と、各高校が必要に応じて実施した「面接」などの結果で合格者を決める。

**選抜資料**

学力検査… 5教科×100点=500点満点  
内申… 9教科×5段階評価×3学年分=135点満点 ⇨ 算式1で調整

選考の手順(定員100名の場合)



入試をもっと深く知ろう

# 1 算式1って何だろう？

中学校間の内申(評定)格差を調整しようとして設けられた数式。内申合計の平均値が95より高い中学は内申が下げられ、95より低い中学は上げられる

$$\text{算式1} = \text{自分の内申} + (95 - \text{自分が通う中学校の内申合計の平均値})$$

中1~中3の内申合計で、満点は9教科×5段階×3学年分=135点満点になるよ！

県が決めた95を基準にして、自分の通う中学が高い分は引かれ、低い分は足される式になっているよ！  
各中学校の内申合計の平均値は「m値」と呼ばれていて、中学によって85~105ぐらいの幅があるんだ！

【例】調整前は同じ内申でも、中学校が違うと内申に大きな差が出ることがある。

隆君の内申 (9教科オール3 →  $9 \times 3 \times 3 = 81$ ) 隆君の通う中学の内申合計の平均値(106)

算式1で計算した隆君の内申は……………  $81 + \frac{(95-106)}{-11} = 70 \Rightarrow -11$ 点

内申の平均値が「95」より11点高い中学のため、隆君の内申は11点下げられます。

恵さんの内申 (9教科オール3 →  $9 \times 3 \times 3 = 81$ ) 恵さんの通う中学の内申合計の平均値(83)

算式1で計算した恵さんの内申は……………  $81 + \frac{(95-83)}{+12} = 93 \Rightarrow +12$ 点

内申の平均値が「95」より12点低い中学のため、恵さんの内申は12点上げられます。

## 算式1により内申が不当に下げられてしまうことも…

詳しくは p75「絶対評価?相対評価?」

算式1の目的は、絶対評価の内申が“高い”中学と“低い”中学の差を調整することです。つまり、内申のつけ方が“甘い”中学と“厳しい”中学の不公平を解消することに意味があります。しかし実際には、地域の特性などにより“学力の高い生徒が集まる”中学もあれば、その逆の中学もあるでしょう。市町村別に2018年春の平均内申を見ると、たとえば松戸市は91.9、浦安市は95.9です。この差をもとに「浦安市は松戸市よりも内申が甘い」とはいえません。

そんな中学校間や地域間の格差が生じる絶対評価の内申を「強制的に県の標準値に合わせる」調整には無理があり、受験生が不利をこうむるケースが出ています。“実際に生徒の学力が高い”A中学と“先生の内申のつけ方が甘い”B中学について考えてみ

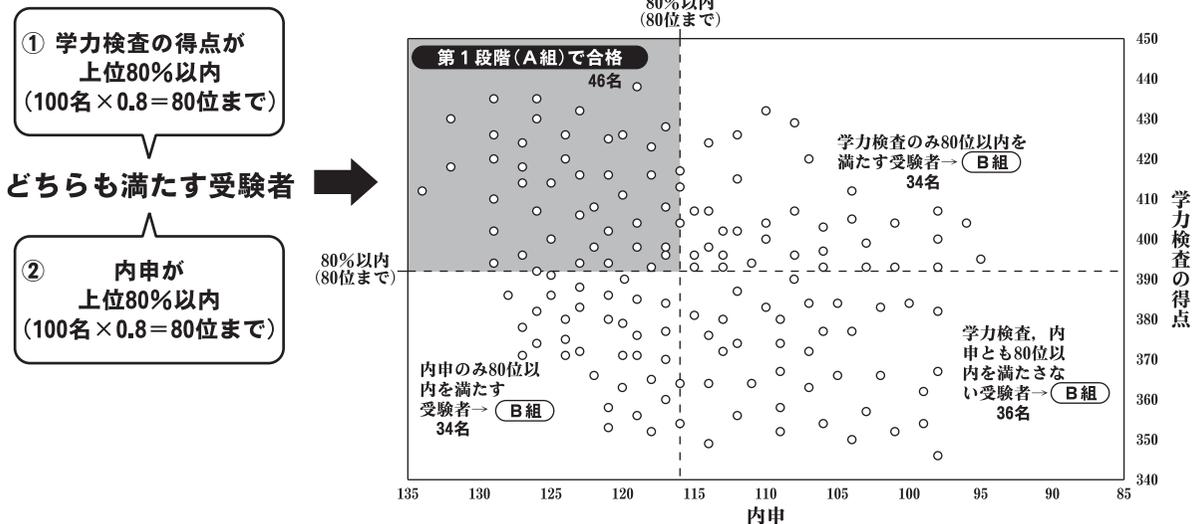
ましよう。A中学もB中学も平均内申を100とすると、県の標準値95を超えているので内申が5下げられます。B中学の甘い内申は調整されたと考えられますが、実際に学力が高いA中学の生徒は不当に内申が下げられたこととなります。また、特に学力が高く、どの中学にいても最高の内申(135点)をとれる生徒が、B中学に在籍した場合も不利をこうむることとなります。本来の実力が135点であっても、つけ方が甘いB中学に在籍したことで内申が下げられてしまうからです。算式1は数式による安易な調整であるため、生徒の内申が不当に下げられ、“本来なら合格する生徒が不合格になる”という大きな問題があります。なお、2021年春に前期・後期が一本化される際には内申調整が廃止される予定です。

入試をもっと深く知ろう

## 2 第1段階(A組)では定員の何%ぐらいが合格するのだろうか?

### 第1段階では後期選抜の定員の40~60%ぐらいが合格

【例】下のグラフは、後期選抜の受験者150名で、定員が100名の場合の分布です。



上のグラフで、学力検査と内申のそれぞれ上位80位まででラインを引いたとき、学力検査と内申のど

ちらも80位以内でなければ合格にならないため、合格者は最大値(80%)の100名×0.8=80名ではなく、

46名÷100名×100=46%となっています。ただし、受験者の分布のしかたや倍率によってこの割合は変

わってきます。一般的には後期定員の40~60%ぐらいが第1段階(A組)で合格となっています。

入試をもっと深く知ろう

### 3 K値って何だろう？

後期選抜のB組合格者を決める「算式2」で内申の重みを調整する値。K値が大きいほど内申の比重が重くなる

$$\text{算式2} = \text{学力検査の得点} + K \text{ 値} \times \text{内申}$$

値が大きいほど内申の比重が大きくなる。多くの高校が「1」を採用

学力検査の得点と内申の重みは次のようになるよ！

	<学力検査>	:	<内申>
K=1...	500	:	135 (135×1)
K=2...	500	:	270 (135×2)
K=3...	500	:	405 (135×3)

知っておくための知識

### 1 調査書にはどんなことが書かれているの？

学習成績や中学校での生活のようすを中学校の先生が記入

様式1 (A4判縦長)

調 査 書																					
* 受験番号	氏名	性別			学籍記録		年 月		入学・転入学・編入学		年 月		卒業見込み・卒業								
		男	女	不明	学年	学期	年	月	年	月	年	月	年	月							
教科の学習の記録	教科	必修教科の評定													選択教科の評定						
		国	社	数	理	音	美	保健体育	技術・家庭	外国語	合	国	社	数	理	音	美	保健体育	外国語		
		第1学年	3	3	5	4	3	3	4	3	4	32									
		第2学年	4	3	5	4	3	3	4	3	4	33									
		第3学年	4	4	5	5	3	3	4	3	34										
全学年の計		11	10	15	13	9	9	12	9	11	99*	* 一覧表		* 一覧表番号							
備考															中学校評定合計平均値	94					
時限的記録		第1学年 居住する市町村の役所の仕事について調べた。																			
		第2学年 地域の養護施設がボランティアにどのように変えられているかを調べた。																			
		第3学年 地域の産業をより発展させるにはどうすればよいかを考察した。																			
出欠の記録		学年		欠席日数		欠席の主な理由等															
		第1学年		2		風邪															
		第2学年		1		風邪															
		第3学年		0																	
行動の記録 (第3学年)		基本的な生活習慣		健康・体力の向上		自主・自律		責任感		創意工夫		思いやり・協力		生命尊重・自然愛護		勤労・奉仕		公正・公平		公共心・公德心	
		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	
特別活動の記録		学級活動 クラス委員 (2年)																			
		生徒会活動																			
		学校行事																			
部活動の記録		テニス部副部長 (2年, 3年)																			
特記事項																					
総合所見		2年次には美化委員として教室の清掃に積極的に取り組んだ。2年次にテニス部の部長になり、後輩の面倒をよく見た。3年次では市の大会で個人優勝をした。																			
本書の記載事項に誤りがないことを証明します。																					
															中学校長 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 印						
平成〇年〇月〇日															記載責任者 教諭 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 印						

→合格者を決めるときに用いる内申(評定)各教科の最高点が「5」なので、満点は9教科×5段階×3学年=135点  
\*第1・2学年は各学年末の成績、第3学年は12月末現在の成績を記入

学年で学んだ教科の評定をA・B・Cで記入

→算式1で内申点(評定)を求めるための数値 \*中学校により異なる

→面接の資料 学校によっては点数化 \*十分満足できるものに○

→面接の資料 学校によっては点数化 \*目立つ事実があれば記入

→面接の資料 学校によっては点数化 \*目立つ事実があれば記入

難易度早見表  
高校の選び方  
偏差値とは  
公立入試・私立入試  
併願作戦  
千葉公立入試システム  
部活一覧  
私立学費一覧  
主要校一覧

## 2 志願理由書はどう書けばいいの？

※2015年春から「全員提出→高校が必要とした場合に提出」に変更

### 志願理由書

→合格者を決めるときの参考資料。面接を実施する高校ではその資料となることも。

(2019年春用)

志 願 理 由 書

平成〇〇年〇月〇日

高等学校長 様

(※受験番号 〇〇〇〇)

中学校名 〇〇 中学校

志願者氏名 〇〇〇〇

保護者氏名 〇〇〇〇 ㊟

私は、下記により、貴校 〇〇 の課程 〇〇 科 ( 〇〇 部 ) への入学を志願します。

記

1 志願の理由 (当該高等学校・学科を志願する動機や理由等について書くこと。)

2 自己アピール (自分について伝えたいことがらを書くこと。)

記入上の注意

- 1 黒のボールペン又は万年筆による志願者の直筆とする。ただし、「1 志願の理由」、「2 自己アピール」の欄については、鉛筆による志願者の直筆でもよい。
- 2 志願する課程名及び学科名を記入する。部については、三部制の定時刻の課程を志願する場合記入すること。それ以外の場合には、斜線 ( / ) を引くこと。
- 3 「2 自己アピール」の欄については、校内や校外での活動、趣味や特技、資格、受賞などについて書いてもよい。
- 4 ㊟印の欄は、記入しない。

まず、受験する高校のことをよく知ることが大切です。インターネットなどで調べるだけではなく、高校の説明会や文化祭などに参加すればその高校の良さをもっとよくわかります。校風や学校独自の行事、部活動などを例にあげて、各校で公表している「期待する生徒像」を参考にしながら、自分が「なぜこの高校に入りたのか」を関連づけて書いていけばよいでしょう。

学校に関すること、校内外での活動、部活動など材料はいろいろありますが、全部書こうとすると的が絞られません。自分の長所、または他人からほめられたことなどを中心にして書きましょう。まずは、ほめられたときのことを思い出してみましょ。そのとき体験したことをエピソードとして利用すると書きやすくなります。また、周りの人に、自分の良さは何かを聞いてみましょう。自分が気づいていない長所が見つかるかもしれません。

志願理由書を提出する高校(2019年春)：浦安南・柏の葉(情)・上総・行徳・船橋古和釜・幕張総合・葉園台(園)・八千代(体)の8校。

## 3 学力検査について知っておこう！

### 学力検査

→前期選抜・後期選抜ともに5教科で実施。各教科100点の500点満点。

#### ■学力検査時間割 (2019年春参考)

\*各教科 前期50分/後期40分

	集合	国語	数学	英語	昼食	理科	社会
						13:30~14:20	14:40~15:30
前期選抜	8:45	9:25~10:15	10:35~11:25	11:45~12:35		13:30~14:20	14:40~15:30
後期選抜		9:15~9:55	10:10~10:50	11:05~11:45		12:35~13:15	13:30~14:10

## 傾斜配点

前期選抜…実施するかどうかは各高校が決める。

後期選抜…理数科は **数学** **理科** ×1.5または×2

外国語・国際に関する学科は **英語** ×1.5または×2

【例】「数学・理科を各1.5倍」

通常 → 5教科×100点

=500点満点

傾斜配点 → 英・国・社×100点 +  $\frac{100点 \times 1.5}{\text{数学を1.5倍}}$  +  $\frac{100点 \times 1.5}{\text{理科を1.5倍}}$

=600点満点

傾斜配点となる  
教科が得意な場  
合は有利だよ！

### ▶2019年の入試で傾斜配点を実施した学校

\*…前期で欠員があった場合に後期を実施

学区	学校名	前期	後期	学区	学校名	前期	後期	学区	学校名	前期	後期
1	市立千葉(理数)	—	数理×1.5	3	県立柏(理数)	数理×1.5	*数理×1.5	5	佐原(理数)	数理×1.5	*数理×1.5
	市立稲毛(国際教養)	—	英×1.5		柏の葉(情報理数)	—	*—		匝瑳(理数)	数理×1.5	*数理×1.5
2	県立船橋(理数)	数理×1.5	数理×1.5	4	流山おおたかの森(国際コミュニケーション)	英×1.5	*英×1.5	6	成東(理数)	数理×1.5	数理×1.5
	松戸国際(国際教養)	英×1.5	英×2		佐倉(理数)	数理×1.5	数理×1.5		東金(国際教養)	英×1.5	*英×1.5
	市立松戸(国際人文)	英×1.5	*英×1.5		成田国際(国際)	英×1.5	*英×1.5	7	長生(理数)	数理×1.5	数理×1.5

知っておく  
ためになる  
知識

## 4 学力検査以外の検査について知っておこう！

### 検査内容

前期選抜…2日目に、右の8種類の検査から各高校が1つ以上を選んで実施。2019年春は、面接のみという高校が大半を占める。学校独自問題は2015年春以降、実施校なしに。

後期選抜…面接などの検査の中から実施。検査を実施するかしないかは各高校が決める。

2020年入試で各高校が何の検査を実施するかは2019年7月に県のホームページ、実施内容は10月に各高校のホームページで発表

### ▶前期2日目検査の実施状況(全日制/実施校・学科のべ数)

面接	84校(134学科)
作文	13校(16学科)
学校独自問題	0校
自己表現	51校(76学科)
適性検査	9校(16学科)
小論文	1校(2学科)
集団討論	1校(1学科)
その他の検査	1校(1学科)

\*地域連携アクティブスクールを除く。

知っておく  
ためになる  
知識

## 5 絶対評価？ 相対評価？

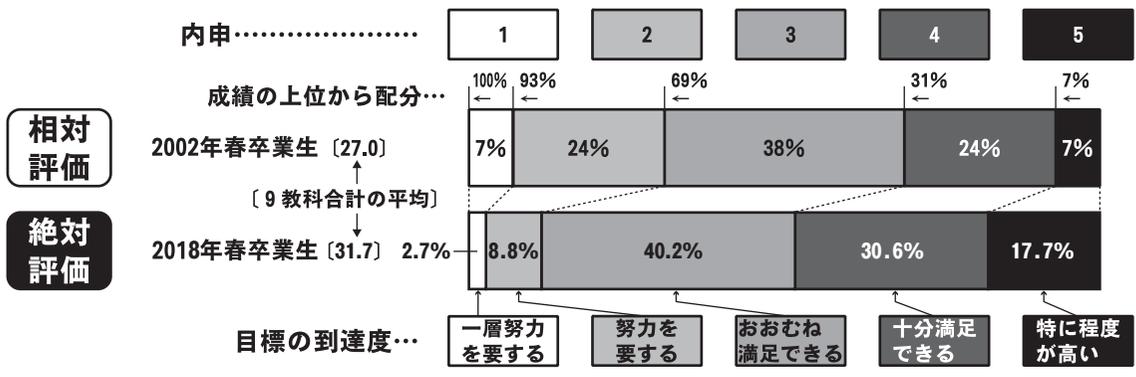
→絶対評価に変わり、5と4の割合が拡大  
内申(評定)は、2002年度の中学の学習指導要領改訂に伴い、2003年春の卒業生より相対評価から絶対評価に変わりました。相対評価での5段階の内申は「5」「1」各7%、「4」「2」各24%、「3」38%という配分が決められ、成績の高い順に「5」から「1」まで割りあてられました。一方、絶対評価では配分の制限がなく、何人でも「5」をつけること

ができます。また、「学習指導要領に示された目標にどれくらい達しているか」や、客観的につけることが難しい「関心・意欲・態度」を5段階で評価。すべての中学校で公平な評価をつけることは困難で、これが入試にも使われている状況です。次ページの絶対評価のグラフは、2017年春卒業生の第3学年2学期の9教科平均による各内申の割合を示したもの

です。相対評価と比べて「5」「4」の割合が大きくなり、「2」「1」が小さくなっています。つまり、

絶対評価が変わって、内申が高めにつけられていることがわかります。

### 絶対評価と相対評価の分布の違い【例】



## 6 受験できる高校に制限はあるの？

### 普通科は制限あり

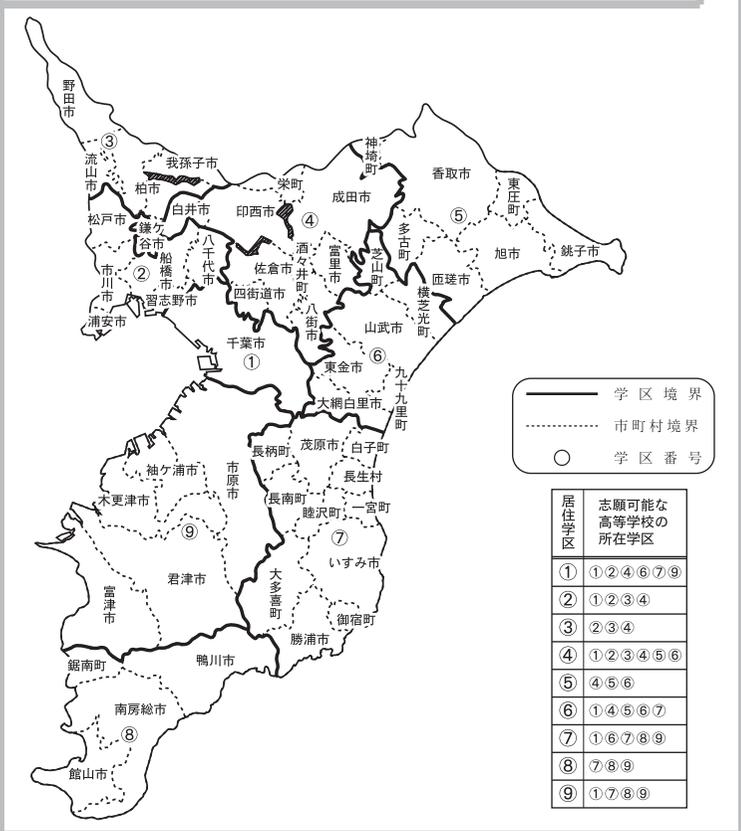
**県立** 全日制普通科は県内が9つの学区に分けられ、「自分が住んでいる学区」と「隣りあっている学区」の高校に受験できる。  
※千葉女子・木更津東：県全域から受験可能

**市立** 千葉市立：市内に住んでいる場合のみ受験できる。  
船橋市立・松戸市立・柏市立・習志野市立・銚子市立：県立普通科の制限と同じ

県立の全日制普通科は、9つの学区(右図)に分けられています。

学区外受験の合格枠の制限がないため、比較的他学区の高校にもチャレンジしやすく、実質的には「学区なし」に近い状況です。ただ一方で、距離は近くても学区が隣接していないために受験できないなどのアンバランスな面も抱えています。右の通学区域図で、3学区の鎌ヶ谷市は2学区の松戸市よりも1学区の千葉市に近くなっています。ところが、学区が隣接している松戸市在住の受験生は千葉市にある学校を受験できるものの、学区が隣接していない鎌ヶ谷市からは受験できません。また、1学区と7学区はわずかに隣接しているだけで、互いに学区外受験が可能になっています。自分の受験できる高校を早めに調べ、場合によっては積極的に学区外受験も考えてみましょう。なお、市立船橋(普)の学区は2017年より、市立松戸(普)の学区は2019年より「市内全域」→「県立2学区と同等」に拡大されました。

千葉県公立高校(全日制普通科)の通学区域図



知っておく  
ためになる  
知識

# 7 公立高校の再編と入試改革のあゆみ

千葉県では、少子化による生徒数の減少に対応して、2002年から県立高校の再編を行い、2002年時点で141校あった全日制高校が2011年の再編計画終了時には124校に削減されました。一方で、「生徒の個性が生きる魅力ある学校づくり」として、単位制への移行や中高一貫教育校の設置も進めてきました。さらに、この再編計画を基盤にして、魅力ある学校

づくりや学校数の適正化を視野に入れた県立学校改革推進プランが2012年から前期（～2016年）と後期（～2021年）に分けて10年計画で実施されています。

入試制度については、2011年に「特色ある入学者選抜」「学力検査等による入学者選抜」が「前期選抜」「後期選抜」へ移行。2021年（現中2生対象）には前期・後期が一本化される予定です。

～2010年までのおもな入試改革		
1975年…学校群制度を導入（第1～3学校群の3群に分割）（～1977年）	1997年…全校で推薦を導入	
1978年…農業・水産・体育学科に推薦を導入	2001年…12の学区から9学区に変更 推薦枠「5～30%」→「5～40%」に〔全日制普通科〕	
1986年…普通科で段階的に推薦の導入を開始	2003年…「推薦」→「特色ある入学者選抜」へ移行	
1989年…学力検査の英語でリスニングを導入		
年度	再編のあゆみ(予定含む)、推進事業	おもな入試改革(変更点)
2011年 (平成23年)	<b>新校開校</b> 船橋啓明〔船橋西・船橋旭を統合〕、市川昂〔市川西・市川北を統合〕、松戸向陽〔松戸秋山・松戸矢切を統合〕、我孫子東〔布佐・湖北を統合〕 <b>学科改編</b> 袖ヶ浦…情報コミュニケーション科を新設 <b>S S H</b> （～2015年）県立柏	•「特色ある入学者選抜」→「前期選抜」、 「学力検査等による入学者選抜」→「後期選抜」に移行 •女子校の千葉女子・木更津東の学区を県内全域に •算式1の使用を前期・後期選抜とも必須に
2012年 (平成24年)	<b>学科改編</b> 泉・天羽…地域連携アクティブスクールに改編 多古・長狭…コミュニティ・スクールに改編 <b>募集停止</b> 松戸南…全日制的募集を停止 <b>S S H</b> （～2016年）市立千葉	
2013年 (平成25年)	<b>学科改編</b> 柏井…英語科→国際コミュニケーションコース 松戸向陽…福祉コースを設置 <b>募集停止</b> 安房…英語科の募集を停止 大原…健康スポーツ科の募集を停止 岬…園芸科の募集を停止	
2014年 (平成26年)	<b>学科改編</b> 東葛飾…医歯薬コースを設置 佐倉…理数科を設置 千葉女子・安房…教員基礎コースを設置 長狭…医療・福祉コースを設置 鶴舞桜が丘…緑地管理コースを設置	
2015年 (平成27年)	<b>学科改編</b> 大原・岬・勝浦若潮を総合学科に統合 小見川…福祉コースを設置 館山総合…栽培コース→栽培環境コース 銚子商業…海洋科学コース→海洋環境コース 成田国際…グローバルスクールに改編 船橋古和釜・流山北…地域連携アクティブスクールに改編 <b>S S H</b> （～2019年）県立船橋 <b>S G H</b> （～2019年）成田国際・松尾、佐倉・市立松戸(アソシエイト)	•前期の志願理由書は「全員提出」→「高校が必要とした場合に提出」に変更 •前期入学確約書の中学校長印を不要に
2016年 (平成28年)	<b>学科改編</b> 成東…単位制に移行 小金…総合学科に改編 千葉工業…理数工学科を設置 中高一貫 東葛飾…併設中学開校 <b>S S H</b> （～2020年）木更津・柏・長生・市立千葉 <b>S G H</b> （～2020年）佐倉	•専門学科の前期枠「50～80%」→「50～100%」に変更
2017年 (平成29年)	<b>学科改編</b> 木更津…理数科を設置 佐倉西…福祉コースを設置 匝瑳…英語科→国際コース 市立船橋…単位制を導入 <b>S S H</b> （～2021年）市立千葉	•市立船橋(普)の学区を市内→県立2学区に拡大
2018年 (平成30年)	<b>学科改編</b> 我孫子・君津…教員基礎コースを設置 千葉商業…情報システム科→情報処理科 流山…園芸科・生活科学科→園芸科、会計科→商業科 成田西陵…生産技術科・生活科学科→園芸科、環境建設科→土木造園科、生産流通科→食品科学科、情報科学科→情報処理科 下総…航空車両整備科→自動車科、生産技術科→園芸科、情報ビジネス科→情報処理科 多古…生産流通科→園芸科 旭農業…生産技術科・生活科学科→園芸科、食品流通科→食品科学科 大網…生産技術科・農業経済科→農業科、食品工学科→食品科学科 茂原樟陽…生産技術科→農業科、生産流通科→食品科学科、緑地計画科→土木造園科 鶴舞桜が丘…食と緑科→園芸科 君津商業…情報管理科→情報処理科 安房…単位制に改編	
2019年 (平成31年 令和元年)	<b>幕張総合</b> …普通科→総合学科 市川南…保育基礎コースを設置 我孫子東…福祉コースを設置 市原・鶴舞桜が丘…統合のうえ普通科に商業コースを設置 <b>S S H</b> （～2023年）県立船橋・佐倉	
2020年 (令和2年) ?	《2020年》成田北…医療コースを設置 四街道北…保育基礎コースを設置 姉崎…ものづくりコースを設置 天羽…工業基礎コースを設置 犢橋…福祉コースを設置 《2021年》君津・上総…統合 佐倉南…三部制定時制高校を設置し、全日制を募集停止	《2021年》・前期選抜・後期選抜を一本化
〔予定〕		

\* **S S H** **S G H** … 文部科学省が指定するスーパーサイエンスハイスクール、スーパーグローバルハイスクール